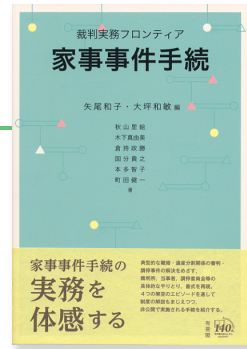


裁判実務フロンティア 家事事件手続

矢尾和子 = 大坪和敏 編

2017年7月発売 / 382頁 / 本体 3300円 + 税
A5判 / 並製



編集
担当者
から

本書は、実際に家事事件手続に携わってきた法曹実務家による、具体的事案とその解決を想定した事例集です。近年事件数が増加している家事手続につき、これから手続に関わっていくことになる人に向けて、わかりやすく解説します。

事案は、架空の、しかし典型的で具体的なものを、執筆者の先生方がかなり時間をかけて作成しました。離婚についての Episode 1・2、相続についての Episode 3・4、いずれも当事者との臨場感あるやりとりを再現し、解決に至る過程を示しています。登場人物たちが事件解決に向けて動いていくストーリーを追うだけでも十分に楽しめ(?)ますが、それぞれの物語の進行に応じて、書式の紹介、実体法・手続法の基礎知識、実務の運用などの解説を加えており、いかなる場面でどのような制度が適用されるかがよく理解できる構成となっています。(A)

Point!



物語の始まりです。人物一覧と関係図、時系列表……どのように解決に至るのでしょうか。

Scene 1

Scene 1 調停申立前 ——夫婦間の事前協議

I 申立人(夫)の活動——離婚を求める夫は

1 打合せ前の事前準備

(1) 相談のきっかけ
新前太郎に、妻の花子からメールが届いた。内容はいつものお金の催促である。さらに、不満足、思知らずなど、太郎を罵倒する言葉が散く。子供たちも成人し、自分もまだ若い、50歳になる前に自由になりたいと考え、仕事でお世話になっている赤坂四郎弁護士に相談することにした。

(2) 面談のアポイントと面談前の準備
平成28年6月、太郎の面談の依頼を受けた赤坂弁護士は、太郎に下記①～⑤の事項を準備した上で、赤坂法律事務所に来るよう伝えた。また、①の家族関係図や②の時系列表のひな形の電子データをメールで送付した。

- ① 家族関係図(名前、生年月日、同居・別居の別を記載)
- ② 離婚を求める理由(結婚、出産、紛争に至るまでの経緯)
- ③ 離婚を求める理由と希望する離婚条件をまとめたメモ
- ④ 戸籍全部事項証明書(もしあれば)
- ⑤ 手紙、文書、写真、録音、メール等、事情が分かる「証拠」資料

2 弁護士との打合せ・委任通知の送付

(1) 離婚意思とその理由の聴取
赤坂弁護士は、太郎が当日持参した資料などを参考に、太郎にこれまでの事情を自由に話すように促しつつ、民法770条1項の離婚事由を意欲しな

Episode 1 離婚費用及び財産分与等離婚給付をめぐる争いから離婚意思及びその理由、それに対する花子の意見などを聴取した。

【家族関係図】

```

graph TD
    Taro[太郎 (S 44.5.5生, 47歳)] --- Hanako[新妻 花子 (S 47.3.3生, 44歳)]
    Taro --- Himeka[長女 葉子 (H 7.12.12生) 21歳 ○○大学3年]
    Hanako --- Makichi[長男 真一 (H 7.12.12生) 21歳 ○○大学3年]
    
```

【時系列表】

平成2年4月	○○大学のテニスサークルで知り合い、交際開始。
平成4年4月	太郎:○○大学卒業後、○○商事に入社。
平成6年3月	花子:○○大学卒業。
同年8月8日	結婚(当初、花子の実家に同居。その後、自宅借物を新築し転居)。
平成7年12月	長男真一、長女葉子(双生児)出産。
平成14年3月	太郎:○○商事退職。
同年5月	太郎:株式会社スター設立。
平成26年4月	長男、長女:大学進学。
平成27年1月	花子:太郎の不貞を疑い、執拗に非難を始める。
同年2月上旬	夫婦の居室を別にする。長女とともに異母始める。
同年下旬	花子と長女から完全に無視され、長男とも会話がなくなる。
同年3月20日	太郎:会社近くマンションを借り、別居開始。